

いじめ 14歳の Message

メッセージ

アニメーション 25分

少女が書いた同世代への緊急メッセージ。

いじめ 14歳の
Message
メッセージ

林 慧樹
Hayashi Miki

この本は14歳の女の子が
学校で実際に「イジメ」にあい
それ乗り越えて書いた小説です
第18回小学館パレットノベル大賞
審査員特別賞受賞作

小学校高学年・中学生・高校生向け

いじめ 14歳の Message

メッセージ

死にゆく主人公「慧佳」の魂の叫び。

『この選択は、永久にナシだよ』

「皮肉なものだよ…死んで初めてわかるんだよ。生きてることのすばらしさ。死んだほうがマシだなんて、絶対にウソ。人は、生きてさえいれば、きっと何かが始まる…始められる。何があっても死んじゃだめ。絶対！登校拒否だって何だって、生きていくためにすればいいじゃない。死を考えるくらいの勇気があるなら、自分を休ませる勇気も持てるはず。春になって季節が変わるように、時間は絶対留まってははいないよ。人生も同じ。今周りにいる人や環境が自分の人生のすべてみたいに思っちゃうけど、ほんの一時の出来事。寂しくなるほど、どんどん変わっていくよ。人も周りも、めくるめく季節のように…」

■あらすじ■

ある中学校。どこにでもある昼休みの教室。ひとりの生徒、慧佳（すいか）はふらふらと窓の方へ向かう。「キャーッ！」クラスメイトたちの悲鳴が響き渡る。宙に舞う慧佳のからだ。「ああ…これでやっと地獄から解放される…祈りながら眠る日々は…もう、おしまい…」慧佳は、こうつぶやきながら落ちていく。

病院の一室で慧佳は、不思議な光景を見る。それは、呼吸器が取り付けられ、たくさんの機械に取り囲まれて眠る、もう一人の「私」。そう、慧佳は誰にも見えない幽体となって浮遊していた。

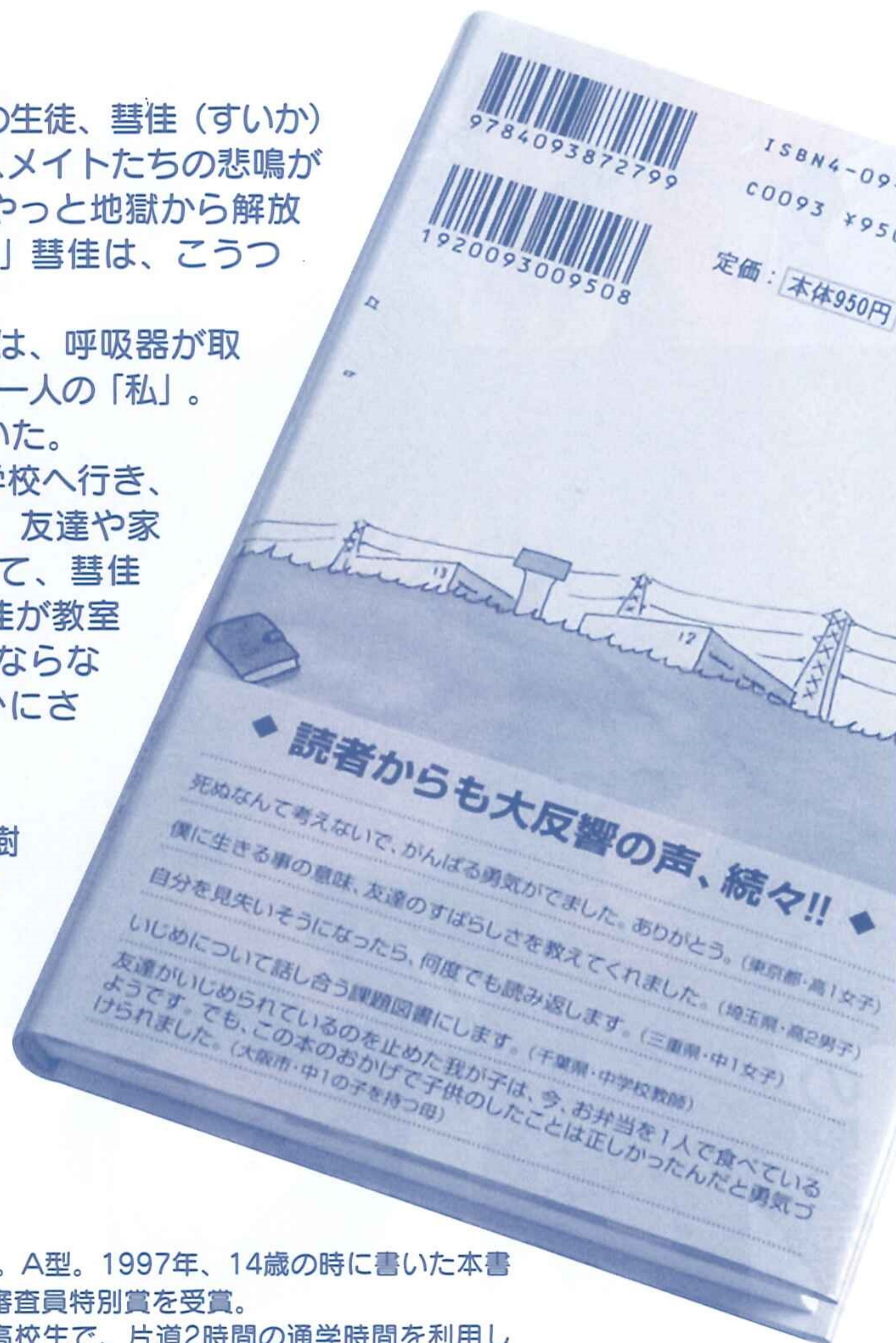
幽体となった慧佳は、この事件で騒然としている学校へ行き、もう一度、人生や学校生活、友達や家族のことを振り返る。そして、慧佳の回想を通してどうして慧佳が教室の窓から飛び降りなければならなくなっただかが次第に明らかにされていく…。

当時14歳だった作者 林 慧樹さんによって書かれ第18回小学館パレットノベル大賞審査員特別賞を受賞した同名小説のアニメ化。

■著者紹介■

はやし みき
林 慧樹

1982年8月19日、岡山県生まれ。A型。1997年、14歳の時に書いた本書で、第18回パレットノベル大賞審査員特別賞を受賞。
現在は岡山県にある某私立女子高校生で、片道2時間の通学時間を利用して大好きな武内昌美さんや折原みとさんの本を読むのが好き。
趣味は音楽鑑賞で、GLAYにはまっている。得意科目は、やっぱり国語。数学と英語はちょっと苦手…。



●お問い合わせ お申し込みは

(映)

有限
会社

博映商事

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31

TEL. (092) 741-0306

FAX. (092) 741-6628